

CADdoctor for Autodesk Moldflow EX11.0 リリースノート

2026年2月
株式会社エリジオン

[EX11.0 で利用するライセンスサーバーについて]

CADdoctor for Autodesk Moldflow が使用するライセンスサーバーは、Thales 社製 Sentinel RMS から Revenera 社製 FlexNet Publisher を用いた Elysium License Server に変更となります。

そのため、EX10.0.2 まで使用していた Sentinel RMS では EX11.0 は利用できません。

CADdoctor for Autodesk Moldflow EX11.0 を利用するためには、新たな Elysium License Server のインストール、およびライセンスファイルの登録が必要となります。

1. 主な対応項目

主な対応項目は以下の通り。

(1) ライセンスサーバーの変更

CADdoctor for Autodesk Moldflow が使用するライセンスサーバーは、Thales 社製 Sentinel RMS から Reverera 社製 FlexNet Publisher を用いた Elysium License Server に変更となります。

そのため、EX10.0.2 まで使用していた Sentinel RMS では EX11.0 は利用できません。

CADdoctor for Autodesk Moldflow EX11.0 を利用するためには、新たな Elysium License Server のインストール、およびライセンスファイルの登録が必要となります。

バージョン	ライセンスサーバー
EX10.0.2 以前	Sentinel RMS
EX11.0 以降	Elysium License Server (Reverera 社製 FlexNet Publisher)

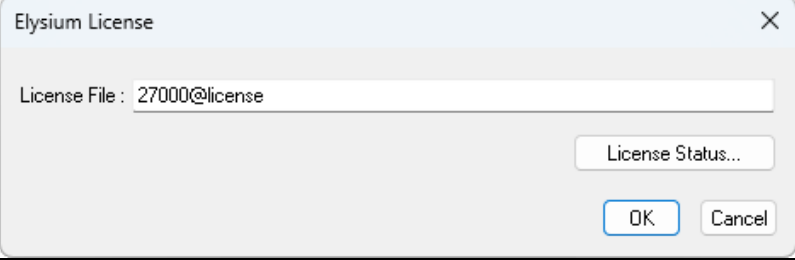
インストールの詳細については、<License Server パッケージ> に含まれている "Elysium License Server クイックスタートガイド" を参照してください。

(2) 新 CAD バージョン / ファイルバージョン対応

- CATIA V5 (Standalone) Importer
R35(V5-6R2025) サポート
 - サポート対象: R10 – R35(V5-6R2025)
- NX (Standalone) Importer
NX 2412.7000 サポート
 - サポート対象 : UG10 – NX 2412 Series
- Parasolid (Standalone) Importer
V37.0 サポート
 - サポート対象 : V7 – V37.0
- STEP (Standalone) Importer
AP242 ed4 サポート
 - サポート対象 : AP203, AP214, AP242 (ed1/ed2/ed3/ed4)

2. 機能改善 / 仕様変更 / 不具合修正

変更点は以下の通り。カッコ内の数字はお問い合わせ時の SupportID です。

(1)	<p>ライセンスサーバー指定方法の仕様変更</p> <ul style="list-style-type: none"> - ライセンスサーバーの変更に伴い、ライセンスサーバーの指定方法も以下のライセンス設定ダイアログにて"<ポート番号>@<ホスト名>"という形式で設定するように変更しました。
	
(2)	<p>標準機能</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「スケーリング」機能でダイアログの無効な項目を表示しないように対応しました。(00074831) - エクスポート機能で出力対象が「表示中の要素のみ」に設定されていても、非表示のポリゴンが出力される問題を修正しました。(00078638) - 「フェース分割」機能で分割位置を指定する際に、フェースやエッジの中点を参照点として表示するように対応しました。(00079056) - フェースの外周に微小なエッジが 2,000 本以上あるモデルで「隣接フェースの欠落」のズーム表示が遅い問題を修正しました。(00083256) - ファイル設定でインポートのログを表示しない設定にしていた場合でも、インポートに失敗した時はエラーダイアログに続いてログ表示を促す確認ダイアログを表示するように対応しました。
(3)	<p>CATIA V5 (Standalone) Importer</p> <ul style="list-style-type: none"> - 特定モデルの変換で、パートの表示非表示が正しく変換されない問題を修正しました。(00074587) - アセンブリーファイルが参照する子コンポーネントのファイルを検索するパスの優先順を指定するパラメーター「FilePathPriority」を追加しました。(00076895)
(4)	<p>STEP (Standalone) Importer</p> <ul style="list-style-type: none"> - シーム入れの処理に使用するトレランスを、固定値からフェース毎に算出した値に変更することでシーム入れ処理を改善しました。(00058590, 00058593, 00079282) - 変換可能な入力ファイルのパスの最大長さを、マルチバイト文字を含んで 259 文字までに拡張しました。(00077183) - 特定モデルの変換で、オフセット面に曲面の自己干渉が発生する問題を修正しました。(00079688)
(5)	<p>JT (Standalone) Importer</p> <ul style="list-style-type: none"> - 特定モデルでアセンブリー配置が正しく変換されない問題を修正しました。また、ポリゴンモデルのインスタンス色の変換処理を改善し、JT ビューワーと異なる色で変換される問題を修正しました。(00079553)
(6)	<p>Parasolid カーネル利用 Importer (Parasolid, JT)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 特定モデルの変換でシーム入れに失敗する問題を修正しました。(DR4885, 00053236, 00074121, 00077040, 00078998) - 特定モデルの変換でエッジが欠落する問題を修正しました。(00075385)
(7)	<p>Geometry Healer</p> <ul style="list-style-type: none"> - 特定モデルに対する自動修正でデータが不正になる問題を修正しました。(00047825) - 特定モデルに対する自動修正で不要な単独エッジが残る問題を修正しました。(00080907)
(8)	<p>Geometry Simplifier</p> <ul style="list-style-type: none"> - 外形抽出の簡易形状置換で、特定モデルに対する円柱への置換が失敗する問題を修正しました。(00077023) - 外形抽出中の自動修正で微小形状が不正に削除されるのを防ぐため、同一点トレランスの設定値が自動修正に反映されるように対応しました。(00081705)

3. システム要件

CPU	Microsoft Windows 11 Pro (*1)が稼働可能な CPU
メモリー	4GB 以上 (推奨 16GB 以上)
OS	Microsoft Windows 11 Pro (25H2)
対応言語	日本語、英語、ドイツ語、中国語(簡体字)、韓国語
ディスプレイ	1280×1024 ドット以上表示可能なディスプレイ(推奨 1920×1080 ドット以上) ダブルバッファに対応した OpenGL ビデオカード(*2)

(*1) Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

(*2) OpenGL は米国 Hewlett Packard Enterprise 社の登録商標です。

4. 特記事項 / 制限事項 / 既知の問題点

4.1. ライセンスサーバー関連

- | | |
|-----|---|
| (1) | CADdoctor for Autodesk Moldflow EX11.0 を使用する際のライセンスサーバーは、FlexNet Publisher 版の Elysium License Server 1.3.0 をご使用ください。ライセンスサーバーのアップデート方法については、ライセンスサーバーのインストーラーパッケージに同梱されている「クイックスタートガイド」を参照ください。 |
|-----|---|

4.2. 主要機能関連

- | | |
|-----|--|
| (1) | NX (Standalone) Importer
- NX 1953 以降で作成されたデータを変換すると、「可視のみ」のレイヤに属する表示要素が非表示要素として変換される場合があります。 |
| (2) | JT (Standalone) Importer
- JT ライブラリーの不具合により、v10.3 以前のバージョンで作成された ULP(Ultra Lightweight Precise)要素を変換すると、ポリゴン形状が正しく変換されない現象が確認されています。 |
| (3) | Geometry Simplifier
- 見えないボリユームの削除機能 (RemoveInvisiblePart) および可視面抽出機能 (ExtractVisibleFace)を使用する場合、実行環境としてバージョン 3.0 以上の OpenGL に対応したビデオカードのある環境を推奨します。 |

5. サポート Moldflow バージョン一覧

- ◆ Autodesk Moldflow Synergy 2019 以降
- ◆ Autodesk Moldflow Adviser 2019 以降

6. サポート CAD バージョン一覧

製品	サポート CAD バージョン
CATIA V5	R10 – R35(V5-6R2025)
NX	UG10 – NX 2412 Series (until 2412.7000)
Creo Parametric	Pro/ENGINEER 2000i – Creo Parametric 11.0
Parasolid	V7 – V37.0
ACIS	R6 – R34
STEP	AP203, AP214, AP242 (ed1/ed2/ed3/ ed4)
JT	v6.4 – v10.10
IGES	5.2, 5.3

※赤文字は EX11.0 で更新されたサポートバージョン

本コンテンツに関わる著作権は株式会社エリジオンもしくは原権利者に帰属しています。
著作権者の承諾なしに無断で改変、複製、転載、再配布、転送、公衆送信、販売、貸与などの
行為をすることは禁じられています。